

病院 DX アワード 2026 にて

病院経営情報分析システム「セコム SMASH」が優秀賞を受賞

— 北摂総合病院様による導入事例発表も高く評価 —

セコム医療システム株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：小松 淳）が提供する病院経営情報分析システム「セコム SMASH」は、株式会社 CB ホールディングス主催の「病院 DX アワード 2026」において優秀賞を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

病院 DX アワードは、医療機関のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に貢献する優れた製品やサービスを表彰するものです。審査員による専門的な評価と製品ページの閲覧数などを総合的に判断し、受賞企業が選定されました。

▼病院 DX アワード 2026 公式ホームページ

<https://www.cbnews.jp/hospital-dx-award/index.html>

今回の審査過程では、社会医療法人仙養会 北摂総合病院様における「セコム SMASH」の活用事例について、同院経営企画室 室長・池田健士様よりご発表いただきました。

発表では、DPC データをはじめとする各種医療データの可視化により、経営状況の迅速な把握、診療機能強化に向けた意思決定支援、部門間の情報共有促進など、医療現場での具体的な成果が紹介されました。これらの取り組みは、データに基づく病院経営改革の実効性を示すものとして高く評価されました。

▼エントリー記事はこちら

部門を超えて広がる活用 データで変える病院経営

<https://www.cbnews.jp/news/entry/20260101000003>

「セコム SMASH」は、診療情報データなどを活用し、診療実績や収益構造を容易に可視化・分析できるシステムです。現場と経営陣が同じデータを共有することで、迅速な意思決定を促し、持続可能な病院経営を支援します。現在、急性期病院を中心に導入が進んでいます。

今後も医療機関の DX 推進を後押しし、データ活用を通じて医療の質の向上と地域医療の発展に貢献してまいります。

2026 年 3 月 25 日

セコム医療システム株式会社

代表取締役社長 小松 淳